

## 基本方針 2 健康福祉分野

～思いやり、支え合い、

みんなが元気で暮らせる健幸のまち～

2-1 健康づくり	★2-1-1 健康づくりの推進	
	★2-1-2 健診・検診の充実	〇〇-〇〇
	2-1-3 心の健康サポートの推進	
2-2 地域医療	2-2-1 持続可能な町立病院の運営	
	2-2-2 救急医療体制の充実	
	★2-2-3 地域医療体制の充実	〇〇-〇〇
	2-2-4 地域医療連携の推進	
2-3 子ども子育て	★2-3-1 子ども・子育て支援事業の推進	
	★2-3-2 子どもを産み育てやすい環境づくり	
	★2-3-3 母子保健・福祉の充実	〇〇-〇〇
	★2-3-4 乳幼児期の教育・保育サービスの充実	
	2-3-5 支援が必要な児童への対応	
2-4 地域福祉	★2-4-1 地域福祉の推進	
	2-4-2 共生型地域福祉拠点機能の充実	〇〇-〇〇
	2-4-3 生活の安定と自立支援	
2-5 高齢者福祉	2-5-1 介護予防と健康づくりの推進	
	2-5-2 介護サービスの充実	
	2-5-3 生きがいづくりと社会参加の促進	〇〇-〇〇
	2-5-4 地域で安心して暮らせる環境づくり	
2-6 障がい者(児)福祉	2-6-1 障がい福祉サービスの充実	
	2-6-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進	〇〇-〇〇
	2-6-3 障がい児の相談・支援の充実	

現状と課題

近年、急速な高齢化の進行から、生活習慣病が増加し、発症と重症化予防を重視した健康づくりの推進や、ライフステージに応じた細やかな保健サービスの充実等が求められています。

本町では、健康づくりの指針となる「健康しらおい21（第2次）」を策定し、町民一人ひとりの健康増進への意識向上と、望ましい生活習慣の形成に向けて取り組んでいます。

しかし、高血圧を起因とした循環器疾患の罹患者は依然として多く、国保では、生活習慣病の医療費が全体の約

1/4を占めています。発症者の中には特定健診未受診者も含まれており、特に働き盛り世代の受診率が低いことから、受診率の向上や受診しやすい環境整備等が求められています。

また、ストレスや不安、悩み等による心の不調に適切に対処するため、「白老町自殺対策計画」を策定し、心の健康づくりに努めています。

これからは、健康寿命の延伸に向けて、「こころ」と「からだ」の両面からの健康づくりが求められています。

めざす姿

## 一人ひとりが自らの健康づくりに取り組み、健康長寿が叶うまち

一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組み、誰もが健康でその人らしい生活が送れるまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

◆心身ともに健やかな暮らしの支援が充実していると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

61.3%

目標値(令和9年度)

67.3%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

◆メタボリックシンドローム該当者等割合

現状値(令和元年度)

該当者 19.2%  
予備軍 11.3%

目標値(令和9年度)

該当者 14.4%以下  
予備軍 8.5%以下

#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

◆国保特定健診受診率

現状値(令和元年度)

34.4%

目標値(令和9年度)

40.4%以上

## 基本事業

### 事業：2-1-1 健康づくりの推進

住民の健康維持のため、「健康しらおい21」等の各種計画に沿った保健予防活動のほか、受動喫煙防止対策や生活習慣病の重症化予防対策等を推進します。

### 事業：2-1-2 健診・検診の充実

疾病の発症と重症化の予防、早期発見・早期治療を図るため、保健指導を充実させるとともに、健康診査における受診環境の改善等に努めます。

### 事業：2-1-3 心の健康サポートの推進

「誰も自殺に追い込まれることのない社会」を実現するため、白老町自殺対策計画に基づき、精神保健に関する知識の普及啓発や、ゲートキーパー研修等を実施し、心の健康対策の充実を図ります。



(高血圧予防の出前講座)



(ゲートキーパー研修)

## 個別計画等

計画名	計画期間
健康しらおい21計画	平成26年度～令和4年度
白老町食育推進計画	平成30年度～令和4年度
保健事業実施計画・白老町データヘルス計画	平成30年度～令和5年度
白老町自殺対策計画	平成31年度～令和4年度
白老町新型インフルエンザ等行動計画	平成27年度～

## 現状と課題

団塊世代が75歳以上となる2025年には、医療への需要がピークを迎えます。住み慣れた地域で医療・介護などのサービスを受けられる環境が求められるなか、地域の拠点病院の重要性が高まっています。

一方で、国は将来の人口構造の変化等を見据え、全国の公立病院の統合や再編の議論の活性化を求めています。

本町においては、町立病院を医療と介護機能を有する病院改築として、方向性を示したところでありますが、病院運営を持続可能なものにするためには、更なる経営改善の実現が必要となります。

また、救急医療については、これまで関係医療機関の協力を受けながら、休日における医療体制の確保に努めてきました。今後においては、ウポポイの開設に伴う来訪者の増加を見据え、更なる救急医療体制の充実が求められています。

将来にわたって安定した地域医療を提供していくためには、医療従事者の安定的な確保をはじめ、医療・保健・福祉が一体となった包括的なサービス提供のほか、広域的な医療ネットワークによる地域医療連携の推進が必要となります。

## めざす姿

## 住み慣れた地域で、 町民がいつでも安心して医療が受けられるまち

住み慣れた地域で、いつでも安心した医療が受けられ、町民の命や健康が守られるまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆安全・安心で適切な医療サービスが受けられると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

44.7%

目標値(令和9年度)

50.7%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆救急患者受入件数

現状値(令和元年度)

758件

目標値(令和9年度)

1,000件

## 基本事業

### 事業：2-2-1 持続可能な町立病院の運営

町民の健康と安全な暮らしを支えていくため、東胆振医療圏域における医療動向や町民ニーズを捉え、町立病院が地域での役割を果たし、健全な運営と経営の安定化を図りながら、老朽施設改築の検討を進めていきます。

### 事業：2-2-2 救急医療体制の充実

町民が緊急時に迅速かつ適切な初期医療を受けることができるよう、町立病院の救急受入体制を確保するとともに、医療活動の充実や町内医療機関等の協力、近隣市との広域連携による救急医療体制の充実を図ります。また、関係機関や一般社団法人苫小牧市医師会と連携して、当番制により休日・夜間診療体制を確保します。

### 事業：2-2-3 地域医療体制の充実

三連携の推進により、データヘルス、インセンティブ（動機づけ）制度を活用した介護予防や、フレイル対策、生活習慣病等の疾病予防・重症化予防に取り組むとともに、医療費の適正化や保険財政の安定化を図ることで、持続可能な社会保障制度の確立を目指します。

### 事業：2-2-4 地域医療連携の推進

町立病院と他医療機関との役割の明確化や、医療連携の推進、ICTを活用した患者情報共有ネットワークの構築など、具体的な取り組みについて、関係機関と協議を進め、東胆振医療圏域における医療機能の分化と連携強化に努めます。

## 個別計画等

計画名	計画期間
保健・医療・福祉施策推進方針	令和2年度～令和5年度
白老町立国民健康保険病院経営改善計画	平成25年度～令和2年度

現状と課題

全国的に少子化が進行するなか、本町においても出生数は年々低下し、合計特殊出生率については、全国平均を大きく下回る状況にあります。

また、女性の社会進出やライフスタイルの変化に伴い、子育て支援に関するニーズは拡大・多様化する一方、家族構成の変化や地域とのつながりの希薄化により、身近な地域に相談できる相手がないといった子育てに関する不安や、孤立感を抱く人の増加、家庭における子育て力の低下等が懸念されています。

こうした現状のなか、本町においても希望する誰もが結婚・妊娠・出産に喜びや幸せを感じ、安心して子育てできる環境づくりが急務となっています。

子どもの健やかな成長のためには、母子ともに健康であることが必要であり、妊娠期から子育て期にわたるまでの保健・医療の充実が課題となっています。あわせて、社会問題化している子どもの貧困や児童虐待など、厳しい環境にある子どもたちへの支援等の強化についても求められています。

めざす姿

## 子どもを安心して産み育てることができるまち

安心して子育てできる環境が確保され、子どもがいきいきと輝き、健やかに育つまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

◆安心して子どもを産み育てられる支援が充実していると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

52.0%

目標値(令和9年度)

58.0%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

◆保育園等の利用定員に対する在園児数の割合(教育・保育)

現状値(令和元年度)

教育 59.0%  
保育 107.9%

目標値(令和9年度)

教育 100.0%  
保育 100.0%

#### 2. 成果指標【まちづくり指標】

◆放課後児童クラブの希望者受け入れ割合

現状値(令和元年度)

100%

目標値(令和9年度)

100%

## 基本事業

### 事業：2-3-1 子ども・子育て支援事業の推進

女性の働き方の変化に伴う子育てニーズの拡大・多様化に対応するため、地域子ども・子育て支援事業の量的拡大を図り、子育てと仕事の両立を支援するとともに、地域での子育て関連団体とのネットワーク強化に努めます。

### 事業：2-3-2 子どもを産み育てやすい環境づくり

子どもを持つことを希望する誰もが、安心して結婚、妊娠、出産、子育てができるよう、相談体制の充実や子どもの居場所づくり等に取り組み、地域全体で子育てを支える体制づくりを推進します。

### 事業：2-3-3 母子保健・福祉の充実

妊娠・出産・育児にわたる母子保健（健診・相談・指導等）の充実と、不妊・不育治療費や子ども医療費等のほか、ひとり親家庭への支援等により、子育て世代の精神的・経済的な不安や負担の軽減を図ります。

### 事業：2-3-4 乳幼児期の教育・保育サービスの充実

様々なライフスタイルや保護者の多様な就労形態により、多様化する保育ニーズに対応するため、安全安心で、質の高い教育・保育環境を確保するとともに、一時預かりや病児預かりなどの充実を図ります。

### 事業：2-3-5 支援が必要な児童への対応

児童虐待や発達に遅れのある子どもへの適切な対応のほか、子どもの将来が家庭の経済力等に影響されないよう、相談体制の充実を図るとともに関係機関との連携を強化し、各施策を総合的に推進します。

## 個別計画等

計画名	計画期間
子ども・子育て支援事業計画	令和2年度～令和6年度
白老町保育事業運営計画	平成29年度～令和3年度
家庭教育支援推進計画	令和2年度～令和6年度
しらおい子ども憲章	平成25年度～

少子高齢化や核家族化の進行により、地域のつながりが希薄化している一方、地域福祉のニーズは複雑化・多様化しており、行政だけでは対応が困難となってきました。

本町では、地域福祉計画に基づき、幅広い町民の主体的参加と、事業者や行政等の協働により、地域福祉の推進に向けて取り組んでいるところであります。

近年、複合的な問題を抱える家庭が増加するなか、本町では、民生委員・児童委員等との連携を強化しながら、

制度の枠を超えた相談体制づくりに努めています。その一方で、福祉人材の高齢化に伴う担い手の不足が深刻な問題となっています。

子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが地域の一員として、いきいきと自立した生活を安心して送ることができるよう、地域で見守り・支え合う体制づくり等を推進しながら、自助、共助、公助による地域共生社会の実現に向けて取り組んでいかなければなりません。

すべての人が安心して、いきいきと生活できるよう、

互いに助け合い、支え合いのあるまち

住み慣れた地域や家庭で住み続けられるよう、すべての人が互いに思いやりを持ち、ともに生きることが出来るまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆地域ぐるみで支えあう福祉体制が整備されていると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

53.6%

目標値(令和9年度)

59.6%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆ボランティアセンター登録者割合

現状値(令和元年度)

12.1%

目標値(令和9年度)

12.1%

## 基本事業

### 事業：2-4-1 地域福祉の推進

住み慣れた地域でいきいきと安心して生活できるよう、町民・地域・行政がそれぞれ連携して、助け合い、支え合いのある地域づくりを推進するとともに、福祉意識の高揚や、福祉活動の担い手育成等に努めます。

### 事業：2-4-2 共生型地域福祉拠点機能の充実

地域福祉活動の活性化を図るため、共生型地域福祉の拠点において、多様化する福祉ニーズに応じた各種相談窓口の運営や講座の開催など、サービスの充実に努めます。

### 事業：2-4-3 生活の安定と自立支援

誰もが健康で文化的な生活が送れるよう、民生委員・児童委員や関係機関と連携しながら、個々の実情に応じた生活相談や支援を行い、要支援者の生活の安定と自立促進を図ります。



(定例民生委員児童委員協議会)

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老町地域福祉計画	令和2年度～令和6年度

団塊世代が全て75歳以上となる2025年には、高齢化率が全国で30.0%となり、高齢化が大きく進行します。本町においては、さらに深刻で、2025年に高齢化率が46.1%と、国以上に高齢化が進行します。

また、核家族化による世帯構造の変化により、独居高齢者や、支援できる家族が近隣にいない高齢世帯の増加、後期高齢者の増加に伴う要介護者の増加等が課題となっています。

これまで、地域包括ケアシステムの構築を進めながら、生活支援コーディ

ネーターを配置し、高齢者が安心して暮らせる環境づくりに取り組んできました。

近年は、一人暮らしや認知症の高齢者の増加を背景に、多様な生活支援サービスの創出や、見守り体制づくりの強化が求められています。

また、住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らし続けられるよう、地域の包括的な支援体制の構築が求められています。

## 住み慣れた地域で、生きがいを感じながら、安心して長寿を楽しむことができるまち

高齢者が住み慣れた環境のもと、生きがいを感じながら、いきいきと暮らし、生活の質の向上を実感できるまちを実現します。

### 将来の目標

#### 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆高齢者が生涯にわたり、安心して住み慣れた地域でいきいきとした生活が送れると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

56.8%

目標値(令和9年度)

62.8%

#### 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆介護予防事業参加者数

現状値(令和元年度)

9,200人

目標値(令和9年度)

9,200人

## 基本事業

### 事業：2-5-1 介護予防と健康づくりの推進

高齢者が地域で自立した生活ができるよう、介護予防に資する知識の普及啓発や、自主的な活動の育成・支援に努め、要介護予防対策や重度化対策等に取り組みます。

### 事業：2-5-2 介護サービスの充実

介護保険制度を持続可能な制度として維持していくため、介護サービスの質の向上や介護給付費の適正化に取り組みます。また、多様な介護サービスのニーズに対応し、安定したサービスを提供していくため、介護人材の確保対策や定着に向けた取り組みを推進します。

### 事業：2-5-3 生きがいづくりと社会参加の促進

高齢者の閉じこもりを予防するため、高齢者がこれまで培ってきた豊かな経験や能力を発揮できるような場づくりを関係機関と連携し取り組みます。

### 事業：2-5-4 地域で安心して暮らせる環境づくり

多様化する相談等を包括的に受け止める体制を整備するとともに、虐待の防止や成年後見制度の利用促進等を図り、高齢者の権利擁護に努めます。



(地域ふれあいサロン)



(高齢者のヨガ教室)

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老町高齢者保健福祉計画・白老町介護保険事業計画	平成30年度～令和2年度

## 現状と課題

高齢化の進行に伴い、障がいの重度化、重複化が進んでいます。そのような状況のなか、障害者差別解消法が施行されるなど、障がい者（児）が住み慣れた地域で自立した生活を送るための法整備が進められています。

本町においても、同法の施行に伴い、職員対応マニュアルや福祉ガイドブックの作成のほか、コミュニケーション支援ボードの活用など、様々な施策を展開してきました。また、障がい者（児）に関する相談支援体制の充実や障がい者（児）を地域全体で支えることができる仕組みづくりにも努めてきました。

これからも、ノーマライゼーションの理念のもと、障がいのある人もない人も、互いに理解し、支え合いながら、地域の中で安心して暮らすことができる環境づくりが求められます。

また、障がい者（児）が地域の中で自立した生活を送るための社会資源の充実、地域の理解、就労の支援、関係機関の連携強化等も必要となります。

加えて、障がい児福祉については、地域における専門的な支援を更に充実させるとともに、乳幼児期から学校卒業までの一貫した支援体制の構築が求められています。

## めざす姿

## 障がい者が安心して暮らし、

## 地域社会の一員として自立できるまち

障がいのある人への理解が深まり、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域で支え合いながら暮らせるまちを実現します。

## 将来の目標

## 1. 町民満足度【町民意識調査】

- ◆障がいの有無にかかわらず、生きがいを持ちながら安心して生活できると感じる町民の割合

現状値(令和元年度)

56.3%

目標値(令和9年度)

62.3%

## 1. 成果指標【まちづくり指標】

- ◆障がい福祉サービス等相談の年間対応件数

現状値(令和元年度)

1,696件

目標値(令和9年度)

1,800件

## 基本事業

### 事業：2-6-1 障がい福祉サービスの充実

障がいのある人が地域において安心して生活できるよう、障がいの特性に合わせた支援サービスの提供や、相談体制の拡充、障がいのある人への理解促進等を図り、個々のニーズに応じた障がい者施策を推進します。また、バリアフリー新法に基づき、公共施設や公共性の高い施設において、だれもが利用しやすい施設や設備になるように努めます。

### 事業：2-6-2 障がい者の自立支援と社会参加の促進

障がいのある人が、地域で自立した生活を送ることができるよう、地域住民や関係機関、事業所等が連携し、就労先の確保や、社会参加の促進、コミュニケーションへの支援、さらには、スポーツを楽しめる機会等の充実を図り、地域共生社会の実現を目指します。

### 事業：2-6-3 障がい児の相談・支援の充実

発達の遅れや障がいがある子どもに対して、関係機関が連携しながら、きめ細やかな相談・支援等を行い、乳幼児期から学校卒業まで切れ目なく療育や学校教育が受けられる環境整備に努めます。



(就労支援施設)



(コミュニケーション支援ボード)

## 個別計画等

計画名	計画期間
白老町障がい者福祉計画	平成27年度～令和2年度
白老町障がい福祉計画	平成30年度～令和2年度
白老町障がい児福祉計画	平成30年度～令和2年度

